

公成建設株式会社 VOL.452

安全衛生ニュース

発行
公成建設(株)安全衛生
協力会事務局
編集
安全衛生委員会
事務局

◆熱中症に気を付けて◆

常務執行役員 営業部長 池永 裕人

毎日暑い中、業務遂行お疲れ様です。

今年も例年通り暑い日が続いており、熱中症に気を付けて頂いていると思いますが、改めて熱中症対策の必要性を考えてみたいと思います。

熱中症とは、高温多湿な場所で体調や体温の調整機能の悪化により発症する障害の総称です。主な症状には、めまいや頭痛、意識障害、手足の運動障害、高体温などがあり、重症化すると死亡災害に繋がる恐れがあります。

・熱中症の発生状況（死者数・死傷者数）

令和7年の職場における熱中症が原因による死者数は、令和6年の同時期に比べ、約39%減少しましたが、死傷者数は約43%増加しています。建設業においても死者数は50%減少しましたが、死傷者数は約28%増加しています。令和7年6～8月の平均気温偏差は+2.36℃と統計開始以来最高を記録しており、予防策を含めた熱中症対策の強化が求められています。

・熱中症の発生状況（発生月・時間帯）

発生月はやはり7～8月が全体の8割以上を占める一方、5月以前や10月以降でも発生しています。発生時間帯は日中を通して発生しており、朝・夕の時間においても注意が必要です。

・暑さ指数による現場管理

〔暑さ指数 WBGT (湿球黒球温度)〕 (Wet Bulb Globe Temperature)は、熱中症を予防することを目的として、1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(℃)で示されますが、その値は気温と



は異なります。暑さ指数が28以上になると熱中症患者が著しく増加するとのデータもあり、現場においては暑さ指数を適切に確認しながら熱中症リスクを評価し、低減のための措置を講じることが重要です。

・熱中症情報の入手

熱中症の発生しやすい季節(6～9月)において、環境省は「熱中症予防情報サイト」

(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)で、全国約840地点のWBGT予測値を毎日公開しています。提供期間は5月中旬から10月中旬までで、当日・翌日・翌々日の3時間ごとの予測値が確認できます。

以上のことは現場の皆様の方が詳しいとは思いますが、改めて注意喚起をさせて頂きました。ご安全に！

8月度合同パトロール

8月6日(木)13:00 より

協力会：(株)タカダ、河原建設工業(株)

安衛委員：稲垣・木本・枘岡・寺田・松永

以上7名で実施しました。

『寸評』 安全衛生委員会

8月度の合同パトロールは、土木現場、「R7桂川下植野中島地区下流河道掘削他工事」を、安全協力会2名、安全衛生委員会5名の計7名で実施しました。

当日は、連日続いている猛暑の中『熱中症災害の防止、重機災害の防止』を主眼に、安全パトロールを行いました。

◆ R7桂川下植野中島地区下流河道掘削他工事

当工事は、京滋バイパスが横断している所から500m下流の三川合流手前1kmに位置します。

菊田主任より概要・進捗状況の説明を受け、重点目標の「熱中症災害の防止、重機災害の防止」を主眼に安全点検を行いました。当日の作業は、掘削土運搬、中州渡り通路の整備で10tDTを含め26名でした。

工事場所：高槻市大塚地先～乙訓郡大山崎町円明寺東島

工 期：令和8年3月3日～8年9月16日(198日)

TEL.075-365-8303 FAX.075-365-8532

発注者：近畿地方整備局 淀川河川事務所

工事概要：【下植野中島地区】

河川土工 掘削・残土処理工 11,900m3

伐採工 16,400m2

【前島地区】

土砂混合工 17,100m3

出 来 高：74.0% (8/5現在)

安全成績：労働延時間=9,024時間

休業災害0件・不労災害0件。(8/5現在)

＜良好な事項＞

① 場内整理整頓

② 安全通路の整備

＜改善・点検を要する事項＞

① 熱中症対策の実行

② DT運転手の運転マナーの徹底

③ 休暇中の盗難防止

■講評では、全体的に大変よく整理整頓はされていましたが、これからは集中豪雨、台風による増水への対策、資材等の飛散防止対策、また、隣接するサイクリングロードでの第三者にも十分配慮するようお願いしました。

■菊田主任からは、「工期は1ヶ月延長され10月21日となりましたが、最後まで交通事故のないよう、また、桂川の増水時には、常に情報をより早く現場に伝達できるよう体制を整え、重機等の冠水災害のないよう注意してこの夏を乗り切っていきたいと思います。」とのコメントでした。



【中州渡り通路. 嵩上げ】

【R7 桂川下植野中島地区下流河道掘削他工事】

重点実施例

『(仮称) 2025 年日本国際博覧会
イタリアパビリオン解体工事』
建築部 建築G 工事主任 枘岡 宏樹

本工事は、建設時同様、西尾レントオール(株)様とのJV工事で、イタリアパビリオンの解体工事となります。BOH棟(バックヤード側)は、重機を使用しての全解体ですが、FOH棟(展示室側)は、構造木などを活かすための生捕り解体となります。

従来の解体工事とは異なり、高所作業での繊細な作業も含まれているため、多方面において安全に対する意識を常に持つ必要がありました。

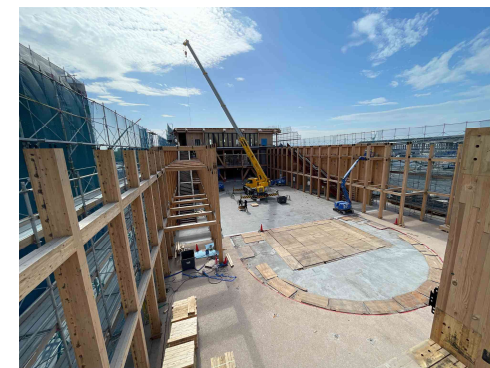
その中で、安全管理における重点実施例として以下の2点をあげます。

①解体順序の遵守

解体前に作業手順・解体範囲を再度確認し、無理な力を加えず、安定性を確認しながら段階的に撤去・生捕りをする。生捕り対象の品目は、手作業で慎重に撤去し、十分な養生を行い保管する。

②端部からの墜落・転落防止

作業開始前に墜落防止設備を点検し、手摺等の安全設備を確実に設置・維持するとともに、フルハーネスなどの墜落制止用器具を適切に使用する。また、端部からの解体材・工具等の落下防止措置を徹底する。ご安全に！！



【(仮称) 2025 年日本国際博覧会
イタリアパビリオン解体工事】

現 場 ニュース

『R7 桂川横大路下島地区上流堤防強化他工事』

土木部 土木G 工事所長 瀧 幹夫

本工事は、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所発注の工事で、京都市横大路地区と宇治市五ヶ庄地区の施工箇所が2箇所ある点在工事です。横大路地区での施工内容は桂川において広幅鋼矢板（L=16.0m、122枚）を地中に設置し堤防や護岸の地中での水の流れを遮断し浸透や漏水による堤体や周辺地盤の破壊を防ぐためのものです。宇治市五ヶ庄地区では宇治川において現在中州となっている箇所の掘削・土砂搬出（9000 m³）を行い、河道を広げる工事となっています。

特に留意するのは、横大路地区では矢板を圧入する作業が主となるため、重量物の吊りこみ作業が頻繁にあり、大型重機が錯綜する現場となります。昨年度も同種工事を施工しましたがさらに安全に配慮して工事を進めます。宇治市五ヶ庄地区では宇治川の河川内作業となる為、河川の水位等自然現象的な部分が工程及び安全に大きく影響します。天候や宇治川上流のダム放流量に注視しながらの施工となります。

両施工箇所共、9月より仮設工をおこない、非出水期になれば矢板護岸工及び河道掘削をおこないます。2箇所を同時に施工する必要がある慌ただしい現場となりますが、無事故で竣工を迎えられるように進めていきます。ご安全に。



横大路地区



宇治五ヶ庄地区

【R7 桂川横大路下島地区上流堤防強化他工事】

安 衛 コ ラ ム

『遮熱性舗装』

土木部 舗装G 係長 亀川 直美

昨年開催された関西万博にも使用されていた、遮熱性舗装についてお話をさせていただきます。

万博会場でふと足元を見ると、気温の割にそれ程暑くない。色もグレー。頭に浮かんだのは「薄層？なんか塗布されてる？」でした。調べてみたところ、遮熱性舗装という特殊な塗料を使って、アスファルトの表面をコーティングされたものでした。具体的には、舗装表面に赤外線を反射させる遮熱性の樹脂（中空パルレーンと熱反射性特殊顔料）を塗布することにより、路面温度の上昇につながる太陽光の近赤外線を高反射することで、路面温度の上昇を抑制する仕組みです。これによりヒートアイランド現象の緩和や、舗装の耐久性向上に貢献します。この遮熱材に含まれる特殊顔料や中空セラミック微粒子が、太陽光の近赤外線を効率的に反射し、路面への熱吸収を抑えます。一般的な舗装と比較して、夏季の路面温度を10℃以上低減できることが実証されています。また、夜間の舗装からの放熱量も減少します。確かに万博会場では、下からの熱波は感じた記憶がなく、そうだったんだととても感動しました。但し、初期費用が一般的な舗装に比べて高くなる事、地域や季節によっては効果が変動する可能性がある事、施工時に遮熱材料の臭いが発生する事などの問題点がまだまだあります。ですが、アスファルトの耐久性も増し、メンテナンスの回数も減るなどのメリットも多く、もしかすると近い将来、これが当たり前ものになる日もそう遠くないのかもしれません。ご安全に！

重 点 施 策

「疲れていない」は思い込み！？

◆「疲れていない」は、本当に疲れていない？

私たちは、疲労を自分で正しく判断できていると思いがちです。しかし実際には、人間の脳は疲れを正確に感じ取ることが苦手だといわれています。

疲労によって最初に低下するのは、体力ではなく認知機能です。認知機能とは、周囲の状況を正しく把握し、

必要な情報に注意を向け、適切に判断・行動する力のことです。睡眠不足や長時間作業が続くと、この認知機能は少しずつ低下します。しかし、自分ではその変化に気づきにくいので、「まだ大丈夫」と感じていても、確認漏れや思い込みが増えることがあります。

つまり、本当に怖いのは「疲れていること」ではなく、「疲れていることに気づけない状態」なのです。

◆脳の疲労が引き起こす見えない危険

脳が疲れると、身体よりも先に次のような変化が現れます。

- ・確認を省略する
- ・「たぶん大丈夫」と思い込む
- ・人の話を聞き逃す
- ・忘れ物や確認漏れが増える
- ・イライラしやすくなる
- ・判断が遅れる

これらは現場だけでなく、車の運転や日常生活にも共通する危険信号です。「疲れているから事故が起こる」のではなく、「疲れていることに気づかないから事故が起こる」と考えることが大切です。

◆疲労は休むより溜めないことが大切

疲れてから休むのではなく、疲労が蓄積する前にリセットすることが安全にも健康にもつながります。

①こまめな休憩を心がける

同じ作業を続けるほど注意力は低下しやすくなります。数分でも作業から離れ、姿勢を変えたり体を動かしたりすることで、脳の疲労回復にもつながります。

②水分不足を甘くみない

体内の水分が1～2%失われるだけでも、集中力や判断力は低下するといわれています。のどが渇く前に水分を補給する習慣をつけましょう。

「疲れを感じたら休む」では遅いことがあります。まだ元気と思えるうちに休むことが、自分と仲間を守る最も効果的な安全対策です。

ご安全に。 土木部工務G

◆事務局からのお知らせ◆



■ 令和8年度 全国労働衛生週間

準備期間：9月1日～9月30日

本 週 間：10月1日～10月7日

スローガン：

『ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに
みんな生き生き健康職場』



■ STOP！熱中症クールワークキャンペーン

期 間：5月1日～9月30日



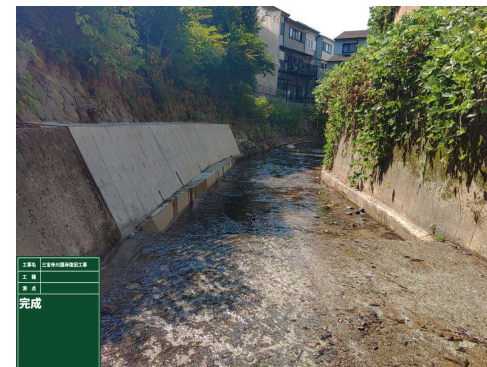
■ 安全衛生協定会・委員会合同パトロールの予定

日 時：令和8年9月9日(水) 13：30～16：00

場 所：新名神城陽第一高架橋（下部工）拡幅工事

協力会：(株)日本サービス、(株)朝日組、(株)田中組

■ 工事完成：ご苦勞様でした。



【三宝寺川護岸復旧工事】